

人間の安全保障無償資金協力：「カンポ・グランデ障害者用マイクロバス導入計画」  
供与式



西林総領事の祝辞



バスのテープカット  
(左から)西林総領事、タンノウス  
会長、  
リマ州教育長官

2005年9月21日、南マットグロ  
ッソ州カンポ・グランデ市にお  
いて、カンポ・グランデ・ペス  
タロジ協会に対する草の根・人  
間の安全保障無償資金協力によ  
るマイクロバスの供与式が行わ  
れました。式典には西林万寿夫  
総領事、同協会のジゼーリ・タ  
ンノウス会長、エリオ・デ・リ  
マ州教育長官の他、関係者約120  
名が出席しました。

タンノウス会長は「長い間夢見  
てきたバスがようやく到着しま  
した。車椅子用のリフトも設置  
されていて、以前のバスに比べ  
ると、快適性、安全性で格段の  
差が見られます。同バスの利用  
により施設外での活動を活発化  
することが出来ることから、バ  
スの価格以上の価値があると思  
います。」と述べ、日本の友情に  
感謝し、バスを大切に活用した  
いと挨拶しました。

西林総領事からは、本件協力は、去る5月26日ルーラ大統領が日本を訪問した際、ブラジルと日本の中で「社会・教育分野における日本国とブラジル連邦共和国の二国間協力に関する覚書」の署名がなされたことに基づくものであるということを説明し、「今回の協力により、障害者の通園、社会活動参加のためのマイクロバス購入が実現し、生徒がバスで移動する際の安全が強化され、私たちの支援がお役に立てることを大変嬉しく思います」と述べました。



○ 上記案件のプロフィール

案件名：

「カンポ・グランデ障害者用マイクロバス導入計画」

被供与団体：

カンポ・グランデ・ペスタロジ協会

契約署名日：2005年6月7日

供与限度額：67,083米ドル

案件概要：

「カンポ・グランデ・ペスタロジ協会」は南マット・グロツソ州において、障害者教育施設を運営する非営利団体で、障害者の社会活動参加を重視した活動を行っており、現在約350人の障害者が通園しています。同協会では、30人乗りのマイクロバスを所有し、障害者の通園や社会活動参加に使用していましたが、老朽化が激しく、シートベルトや昇降機、車椅子の固定場所などを備えていないため、安全面でも問題を抱えていました。このたび、我が国の無償資金協力により、新しいマイクロバスを購入し、生徒がバス移動する際の安全強化を図ることになりました。